



平成23年7月11日
生活再建・産業復興局

青森県復興ビジョンの策定作業について

1 策定の目的及び体制

青森県復興ビジョンは、創造的復興に向けた中長期的な取組の方向性を示すものであり、策定に当たっては、各分野の専門家や有識者などで構成する青森県復興ビジョン策定懇話会を設置したところである。

氏名	所属	備考
井口 泰孝	弘前大学監事	座長
大谷 真樹	八戸大学・八戸短期大学総合研究所長、八戸大学学長補佐	
神本 正行	弘前大学北日本新エネルギー研究所長	
竹浪 康	青森県農業協同組合中央会営農農政部長	
対馬 逸子	The 企画エルサーチ株式会社専務取締役	
野田 一夫	八戸水産加工団地協同組合代表理事	
藤田 成隆	八戸工業大学学長・防災技術社会システム研究センター長	副座長
村上 壽治	青森県医師会副会長	
山田 里美	特定非営利活動法人NPO推進青森会議事業統括マネージャー	
吉田 悦子	株式会社ファーストインターナショナル取締役	
奈良岡 修一	青森県市長会（八戸市副市長）	
山口 昇	青森県町村会常務理事兼事務局長	

2 懇話会の開催状況

○第1回…6月13日（月）青森市

<内容>

- ・委嘱状交付
- ・意見交換

<主な意見>

- ・一次産品を含めた輸出産業を大きく位置付けるべき。
- ・風評被害の防止や農林漁業者の不安解消のための正しい情報の的確な発信が重要。
- ・農林水産業の6次産業化を図らなければならない。
- ・青森に適したエネルギーネットワークシステムの構築に向けた議論が必



要。

- ・八戸港の機能・サービス向上についての検討が必要。
- ・新幹線、高速道路、港湾、空港など交通インフラが整っている八戸地域の地理的な優位性をどう活かしていくかの検討が必要。
- ・災害時における医療機関の停電対策、通信手段の確保が重要。

○第2回…7月6日（水）八戸市

<内容>

・現地調査

八戸市市川地区、三菱製紙(株)八戸工場、八戸港八太郎2号埠頭、(独)青森県産業技術センター食品総合研究所、八戸漁港

・意見交換

<主な意見>

- ・他県への貢献、お互いにカバーし合いながら復興を進めていく、ということビジョンに位置付けていくべき。
- ・10年先を見据えた場合、「環境」がキーワード。「青森県は環境を大事にしている」というイメージを発信していくことが重要。
- ・グローバルに「つなぐ」ことが重要。攻めの復興をめざすべき。
- ・農林水産品の輸出を進めていく上で、検査機関の充実は不可欠。
- ・観光は団体よりも個人、ビジネス客の誘客に力を入れていくべき。
- ・LNG基地の冷熱エネルギーの導入やガレキなどのエネルギー源としての活用を産業振興に活かしていくべき。
- ・津波が来た際に、最低限人命が助かる仕組み、逃げる場所をつくっておかなければいけない。
- ・次世代につながる人財育成が重要。
- ・学校の避難所機能の強化が必要。

3 今後の予定

今後、懇話会を3回程度開催し、提言を取りまとめていただくとともに、県議会を始め、県民の皆様の御意見を十分踏まえ、年内を目途にビジョンを策定する。